

運輸サービス部会の対象業界



物流



航空貨物



海運



航空旅客



旅行 ホテル



通信IT



物流

2018年回顧

- 税関ストライクが断続的に発生
- トラック運転手ストライキによる主要幹線道路封鎖、国内、輸出入貨物の遅延発生
- 脆弱なインフラが改めて浮き彫りに 空港貨物ターミナル
- 税関システム (U-IMP) 導入延期
- コスト削減要請の高まり

トラック運転手ストライキ後の混雑状況@ビラコpos空港輸出ターミナル (2018年6月29日撮影)



2019年展望

- 待遇完全を求めるストライキ (税関、厚生省、農務省、港湾労働者等) の発生が懸念事項
- 経済の伸張とともに、輸出入貨物の増加に期待
- ANVISA、MAPAのプロセス改善
- 税関システム (U-IMP) の早期導入
- 空港、港湾インフラ整備促進 別表 空港 港へのインフラ投資額推移 (2007-2018年)
- 2020年1月に規制開始の「船舶SOx規制」に向けた対応

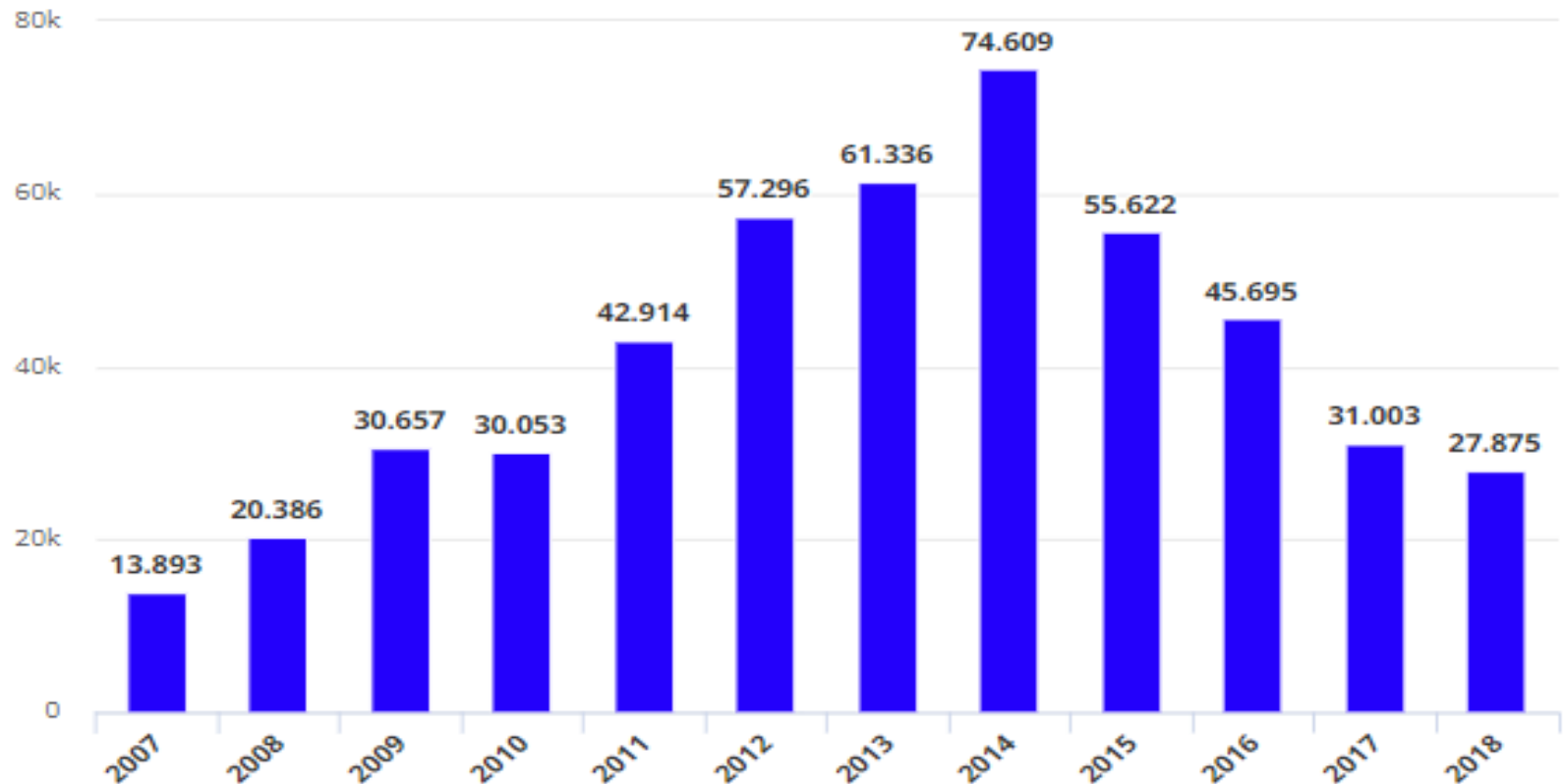
運輸サービス部会 2018年の回顧と2019年の展望

空港 港へのインフラ投資金額 **Infraestrutura Aeroporto & Porto**

2018年度投資金額 **Investimento em 2018**: R\$ 27,875 bilhões ou 0,4% do PIB

INVESTIMENTOS DO GOVERNO EM INFRAESTRUTURA

EM R\$ BILHÕES (VALORES CORRIGIDOS PELO IPCA)



Fonte: Tesouro Nacional



海運

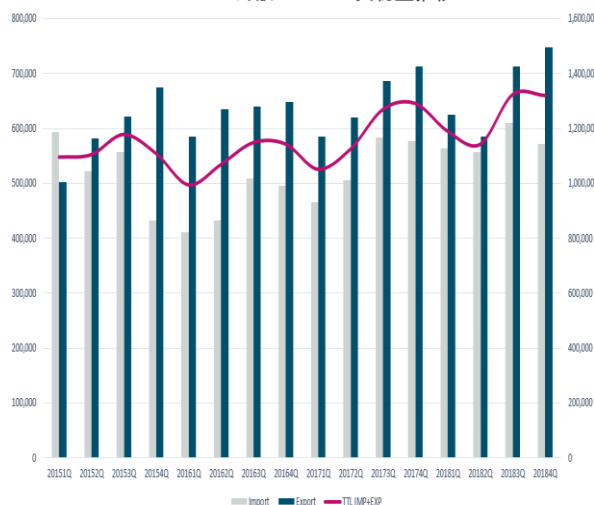
2018年回顧

- ◆ コテナ船 - 世界的には相次ぐ大型コテナ船就航により需給が緩むも、ブラジルに関しては輸出入とも堅調であった。燃料油の高騰がコスト増に大きなインパクトを与えた。
- ◆ その他 - ドライバルレク（鉄鉱石、大豆等）市況は堅調に推移するも年末にかけて中国景気減速の影響を受け軟化傾向。自動車船は亜国の経済危機を主因に輸出量が第三四半期より大幅減、一方で輸入量は国内市場回復により増加基調となる。

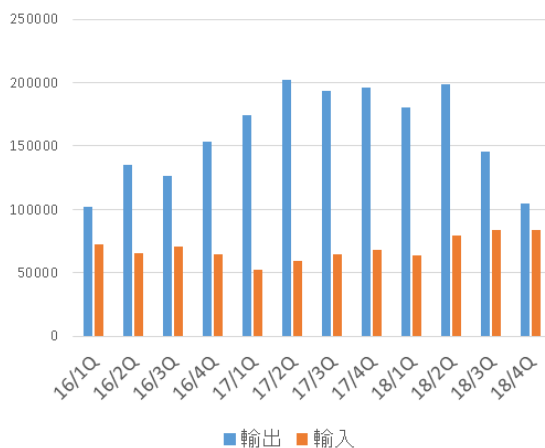
2019年展望

- ◆ コテナ船 - 大型コテナ船の就航はひと息つくも、中国経済の減速・米中貿易戦争の行方・英国のEU離脱など不安定な世界経済の影響を受ける可能性あり
- ◆ その他 - ドライバルレクは中国の景気動向と、ブラジルの鉱業用ダム決壊事故による鉄鉱石生産減への影響を注視。自動車船は亜国需要動向を引き続き注視。
- ◆ 2020年1月発効のIMO（国際海事機関）による船舶のSOx（硫黄酸化物）規制対応の為に低硫黄燃料への切り替え準備が開始され、コスト増が予想される。

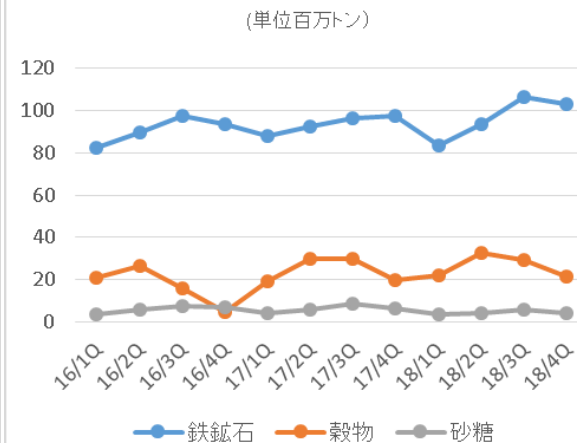
ブラジル外航コンテナ貨物量推移



ブラジル完成車 輸出入台数推移



ブラジルばら積み主要貨物輸出入量推移





2018年回顧

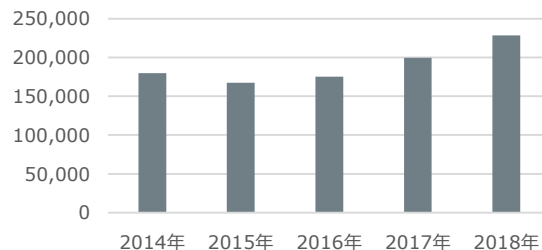
航空貨物

- 世界の動向 業界全体のFTK 貨物トンキロは 3.5%伸張、2017年度の9.7%と比較し鈍化
- 米州の動向 2018年後半は軟調に推移したものの、年を通じて好調、3.1%の伸張
- 南米の動向 この地域の政治的及び経済的な不確実性にもかかわらず好調、年初より20%伸張
- ブラジルの動向：

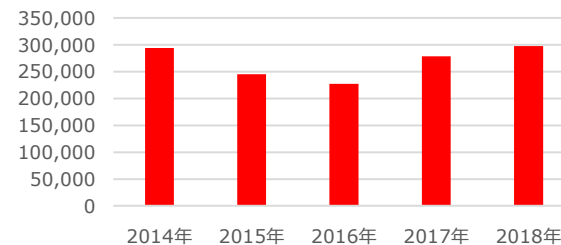
- トラック運転手ストライキにより航空貨物需要が増加
- ブラジル主要空港 (GRU、VCP) 取扱量は大幅増
- 空港キャパシティ超過による輸出貨物搬入制限実施に伴い出荷遅延発生

＜GRU & VCP空港 航空貨物輸出入取扱数量 単位トン＞

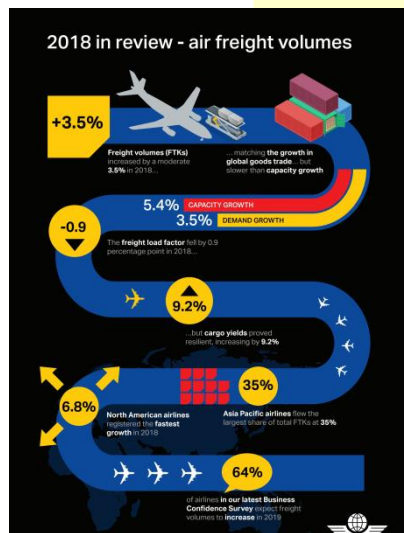
輸出



輸入



(数値出典元 :GRU AIRPORT CARGO,VCP AEROPORT ,INFRAEO CARGO)



(数値出典元 :IATA Statics)

2019年展望

- 航空貨物需要の伸張は継続 : 3.7%の伸張見込み 全世界)
- 英国のEU離脱に伴う生産移管、在庫補充に伴う航空貨物需要増
- 米中貿易摩擦による 中国-ブラジル間の荷動き増による航空貨物需要増
- 航空運賃の上昇 輸出入貨物のインバンスによる)
- 原油価格上昇による燃油費上昇

2018年回顧



- 搭乗旅客数 *ブラジルの航空会社合計 民間航空庁/ANACデータ)
内線+国際線旅客数 1億300万人 (17年9890万人)+4.1%
国内線: 9360万人 (17年9360万人)+3.3%
国際線: 940万人 (17年8400万人)+11.9%
●ブラジルの航空会社の国際便搭乗客数12月は、00年に統計開始以来、史上最多

ただ実際 現場で起こっていることは...

- アビアンカ航空12月民事再生手続き、AA RIO = NYC線運休、南米線は機材が古い等々...
また、マーケット情報によると他にも南米線で苦境に陥っている航空会社があるとも
... どうして、こうなるのか? そこには南米特有の構造的問題が...

- コスト 毎年上がる
- 運賃 競争にさらされ上げられない
- サービス コストUP分は、機材費やお客様のサービス等からカットするしかない。

2019年展望

- 航空会社の“LCC化” * 料金バリエーションを細分化しサービスを一部有料化
- ①座席指定有料化 ②荷物許容量 ◆国内例 LATAM、GOLはYクラス荷物許容ゼロ。
- ◆国際例 LH 1/23kg(Y)2/32kg(C) ⇔ 差 ⇔ AA/JL 組合せ2/23kg(Y)3/32kg(C)
- ボンナール政権への景気回復期待 ⇒ 需要増 ⇒ 便混雑 ⇒ 単価UP ⇒ 路線収支改善
- 安売りを追いかけて、高単価の顧客層に絞り込み、高い価値を買っていただく。
- 現地通貨決裁の自社カード開発。自社web展開等、値段以外の部分で価値を創出。

2018年回顧

旅行・ホテル業界

	2017年(1～3四半期)		2018年(1～3四半期)		比較	
	売上高 (千)	発券枚数	売上高 (千)	発券枚数	売上高	発券枚数
国内線航空券	R\$ 2,582,416	4,310,711	R\$ 2,890,138	4,438,635	+ 11.9%	+ 3.0%
国際線航空券	R\$ 2,025,999	521,244	R\$ 2,181,506	574,538	+ 7.6%	+ 10.2%
ホテル	稼働率	平均宿泊費	稼働率	平均宿泊費	稼働率	平均宿泊費
	65%	R\$293.42	68%	R\$314.17	+ 4.6%	+ 7.1%

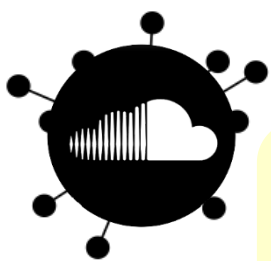
2019年展望

出展: ABRACORP & FOHB

- 観光が新政権の優先課題の一つ
- 景気回復に伴うドル安レアル高への期待
- 日本からブラジルへのインバウンドは停滞気味
- ブラジルから日本へのアウトバウンドへの期待
- インターネットによるオンライン販売 (BtoC)
- 北米メガ代理店によるグローバル化
- 個人向けツアー

トピックス

- AVIANCA航空が破綻。会社更生法の適用を申請。
- バイソナー大統領が日本人に対する観光ビザ免除を優先課題として検討。



2018年回顧

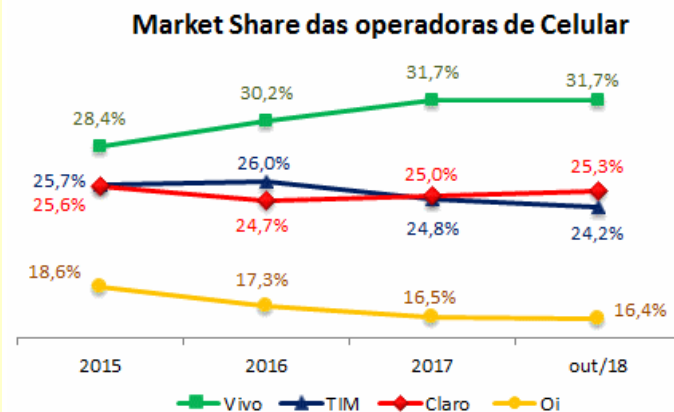
- 4G(LTE)契約は2G/3Gからの移行が進み約2,755万増加し、全体の57% (表A)
- IoT契約数が順調に増加 (対前年+21%) し、全体の9% (表A)
- マーケットシェア (2018年10月) : VIVO32%、Claro25%、TIM24%、OI16% (表B)

(表A)携帯電話 モバイル契約者数

項目	2018年末 [単位 : 万]	前年比
携帯電話契約数 (全体)	22,921 (100%)	▲3%
4G (LTE)	12,984 (57%)	+27%
3G	5,237 (23%)	▲37%
2G	2,534 (11%)	▲23%
IoT (データカード含む)	2,215 (9%)	+21%

【出典】Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

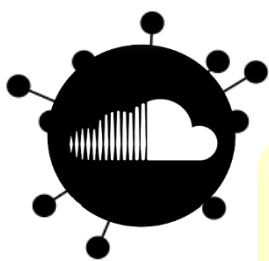
(表B)モバイルのマーケットシェア



【出典】Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

2019年展望

- 2018年中に認可予定だった、LPWA(Low Power Wide Area) の認可が遅れており、今後の予定も不透明。
- 通信コストの低減から引き続きIoT分野での成長が見込まれる。
- 5Gオークション準備開始。当初予想より遅れ2019年末～2020年初頭がターゲット



通信IT 通信業界

2018年回顧

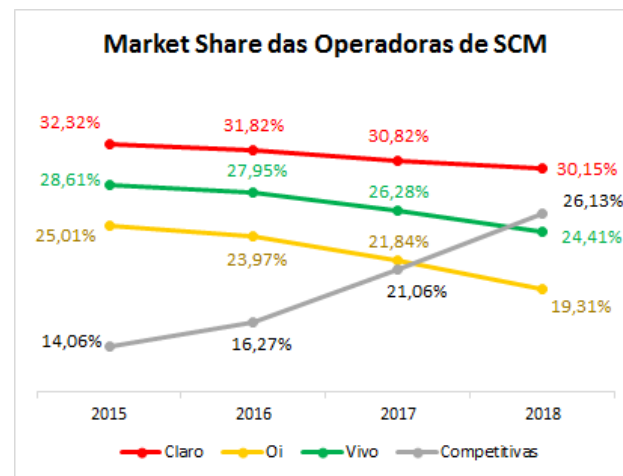
- 都市部を中心に光化が進み、高速・広帯域インターネットサービスの利用者が増加。
- インターネット普及率（2018年6月）：70.7%（1億4905万ユーザ）（表C）
- マーケットシェア（2018年12月）：NET30.15%、Vivo24.41%、OI19.31%（表D）

（表C）南米各国のインターネット普及率

順位	国名	総人口辺りの普及率	合計ユーザ数
1	アルゼンチン	93.1%	41,586,960
2	パラグアイ	89.6%	6,177,748
3	ウルグアイ	88.2%	3,059,727
4	エクアドル	79.9%	13,476,687
5	ボリビア	78.6%	8,817,749
6	チリ	77.5%	14,108,392
7	ブラジル	70.7%	149,057,635
参考	日本	93.3 %	118,626,672
参考	アメリカ	95.6 %	312,322,257

【出典】IWS HP <http://www.internetworldstats.com/>

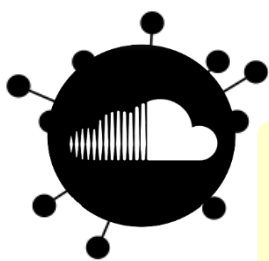
（表D）ブロードバンドのマーケットシェア



【出典】Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

2019年展望

- 昨年同様に光ファイバ網のエリア拡大や、通信品質の改善が期待される。
- 個人及びビジネスにおけるインターネットの利用が増加することによる通信帯域の圧迫など、通信品質の低下が懸念される。



通信IT
IT業界全般

2018年回顧

- IT投資（ITインフラの更改・改善、クラウドサービスの利用、セキュリティの強化、ネットワークサービスの増速、IT運用の改善等）を計画・検討。
- IT管理の複雑化やシステム自体の高度化により、IT管理者向けのサポートの需要が増加。
- レベルの高いITエンジニアの確保や、高品質かつ高帯域の通信回線の確保が課題。

2019年展望

- ITインフラの強化及びインターネット提供エリアの拡大が期待される。
- ビジネス拡大に向けたIT投資の再開及び増強が見込まれる。（表E）
- クラウドサービスやITアウトソーシングなどの需要は継続して増える見込み。
- Windows7/2008のサポート終了によるPC/サーバ更改の需要増加が想定される。

(表E)ブラジルのIT支出市場予測



【出典】statista HP <https://www.statista.com>

「成長への期待、変化への対応」

	成長により起こり得る現象	対 応
物流	(+) 経済慎重に伴う輸出入貨物の増加 (+) eコマースの拡大 (-) インフラの脆弱さが改めて露呈 (-) 政治改革への反発に伴うストライキ	ブラジル物流インフラの拡充に期待 = ボーレソナール政権の政権運営に期待 Portal Unico - 輸入(DU - Imp)は年末導入見通し
海運	コンテナ:(+) 輸入貨の増加 自動車輸送:(+) 輸入増/(-) 輸出減 バレク:(-) 通貨高による輸出競争力の低下	⇒ 日系キャリアとしての強み発揮 ⇒ 変化に対応したサービス改変 ⇒ 中国経済次第 サービスの均質化が進むコンテナ業界では、日系製造業を意識した日本船社のきめ細かいサービスで差別化を図る。 ブラジル関連のビジネスは緩やかな回復途上にあるが、中国・アルゼンチンの動向やIMOによるSO ₂ 規制などの外的な懸念材料もあり、変化に機敏に対応することが求められる。
航空貨物	成長継続 米中貿易摩擦によるブラジル・中国間の荷動き増による航空需要増に期待 輸出入貨物のインバランスによる運賃の上昇を懸念	Outbound貨物の運賃負担力の高い工業製品がブラジルで造られることに期待

「成長への期待、変化への対応」

	成長により起こり得る現象	対 応
航空 旅客	景気回復による好循環 景気回復⇒航空機需要増⇒便混雑 ⇒単価UP⇒航空会社の収支改善。	戦略の絞込み： 高単価の顧客層への高品質サービス提供 現地通貨決裁の自社カードの開発 現地で購入可能な自社Webの開発
旅行 ホテル	ドル安レアル高による海外旅行者増 販売の成長 ボレイナーノ新政権による観光促進 （日・米・加・豪に対する観光ビザ免除も検討）	（イ）設備投資 （ロ）お客様のニーズに適った商品の提供とその 為の豊富な知識と経験の獲得 * 2019は連休少なく短期間のパック増が見込まれる
IT 通信	IoT分野の成長 - インフラの公共投資はIoT技術を活用した遠隔 監視と相性がよくスマートシティ向けのIoTソリューションの普及の加速が期待できる。	2018年に引き続き レベルの高いITエンジニアの確保 高品質且つ広帯域の通信回線の確保 - ブラジルはテクノロジーのキャッチアップが遅い為、コストと最新技術動向の見極めがソリューション提供上、非常に重要